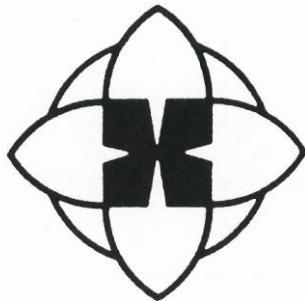


令和 6 年度

運営に関する計画



令和 6 年 4 月

大阪市立矢田北小学校

大阪市立矢田北小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

現状と課題

令和 5 年度はコロナ前の学校生活に完全に戻り、活動的な 1 年となつた。重点としてきた「学力保障」・「集団の育成」に向けた取組を進める中で、学力向上や規範意識の向上など、一定の成果もあつた。しかし、不登校の児童が増加するなどの課題もある。

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標(小学校)

○令和 5 年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87 %以上にする。

⇒ 未達成(74. 5%→80. 8%) 3年 (89.3) 4年 (77.8) 5年 (77.8) 6年 (78.3)

○令和 5 年度末校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

⇒ 未達成(4. 05→4. 17→8. 97) 6人→6人→14人

○令和 5 年度末校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

⇒ 未達成(50. 0→40. 0) -10. 0 5名中 2名は改善したが、新たに 8 名増加

毎学期いじめアンケートを実施した他、日々の学級指導による担任による声かけ、タブレットによる相談機能の活用等により、未然防止、早期発見、早期解決に努めた。軽微なものをすばやく発見し、すぐ対応することでいじめ重大事案にならないように努力している。経過観察が必要な案件もあるが、無事解決に至っている。

現在不登校・不登校傾向のある児童は全体で 14 名と、昨年度より 8 名増加した。改善する児童もいるが、新たに登校しにくくなる児童もいる現状である。保護者の考え方も多様化し、「無理に行かせません」「学校へ行かせる意味がない」と様々な価値観があるので、対応に苦慮している。また、家庭環境が安定せず、引き続き関係機関と協力し、見守りを続けていかなければならない児童も多く在籍している。高学年に進級し、「学校を休む」=「学習の遅れ」という負のスパイラルに陥ってしまうとさらに不登校傾向が悪化するため、今後、スクールカウンセラーや SSW、区役所の子どもサポートネットなど、関係機関との連携を深め、よりよい支援を探りつつ支援を続けていく。加えて、外国にルーツのある児童も増えつつあり、言語の壁で、学力保障に支障をきたすこと懸念される。

学校の年度目標

○令和 5 年度末校内調査の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を 88 %以上にする。

⇒ 達成(94. 7%→84. 7%→91. 0%) +6. 3

○令和 5 年度末校内調査の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を 90 %以上にする。

⇒ 達成(92. 4%→91. 9%→92. 4%) +0. 5

○令和5年度末校内調査の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を86%以上にする。

⇒ 未達成(88.6%→85.4%→84.7%) - 0.7

「楽しく学校に通っている」の肯定的答复が上がったことは、大変嬉しく感じる。日頃より教職員が児童の気持ちに寄り添い、楽しい学校になるよう集団作りに取り組んだ成果であると考える。また、「きまり」に関しては、生活目標の設定やあいさつ運動等、ルールを守ることについて、その意味や自分の行動について振り返るよう指導した。あいさつについては、向上したが、きまりを守らない部分も少しずつ増えてきている。今後も道徳教育や人権教育、課内実践等を通して、「相手の気持ちを考えて行動すること」や「心を耕す教育」を推進していく。

次年度も継続して取り組み、本当の意味で行動に移せる児童の割合を増やすことを目指す。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

○令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、40%以上にする。

⇒ 達成(33.5%→32.0%→42.5%) + 10.5

6年(30.4) 5年(51.9) 4年(55.6) 3年(32.1)

○令和5年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。

⇒ 未達成 6年国(+0.06) ○ 5年国(+0.04) × 4年国(+0.05) ○

⇒ 達成 6年算(+0.39) ○ 5年算(+0.17) ○ 4年算(+0.20) ○

○令和5年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

⇒ 未達成(70.4%→69.7%) - 0.07

6年(43.4) 5年(66.6) 4年(72.2) 3年(96.4)

○令和5年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

⇒ 未達成(77.2%→49.1%→80.8%) + 31.7

6年(78.2) 5年(77.8) 4年(77.8) 3年(89.3)

○令和5年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

⇒ 未達成(74.1%→73.5%→69.7%) - 3.8

6年(73.9) 5年(74.1) 4年(55.6) 3年(75.0)

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」については、大きく伸びた。授業の中で話し合う場面を多く取り入れた成果であると考える。今後も「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動を進めていく。

国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較した結果、算数に関しては、3学年向上できた。国語については、1学年未達成であったが、向上している。引き続き、個に応じた丁寧な指導を続けるとともに授業力の向上に取り組む。

理科に関しては、実験・観察等を丁寧に行い、「発見する喜び」「予想する期待感」を求めるよう授業を工夫してきたが、高学年になるほど、結果が悪くなってしまった。来年度は、理科教育推進校として、理科補助員が配置されることとなった。理科補助員と連携し、実験・観察の準備を効率的に行い「なぜだろう」「どうしてだろう」の疑問について、じっくり考える時間を確保し、効果的な実験・観察の時間としたい。また、校内自然環境を整備し、生き物に対する興味関心を喚起させ「生物多様性」や自然保全の大切さを実感させる取り組みを進め、理科の面白さを追求していく予定である。

外国語（英語）に関しては、どの学年も大幅にアップした。楽しく英語に触れる機会等を増やし、C-NETとの連携を深め、授業を改善した成果であると考える。

運動に関しては、なわとび集会やランランタイム、中学校の先生による指導等の取り組みにより、成果が出た。一輪車や竹馬の整備等、運動できる環境の整備も引き続き、進めていく。

学校の年度目標

○令和5年度の小学校学力経年調査の結果が、国語算数の全24観点のうち、50%以上の観点が大阪市の平均を上回るようにする。

⇒ 未達成(6観点) (5年国3 5年算1 6年国1 6年算1)

○教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を87%以上にする。

⇒ 未達成(91.6%→91.9%→89.0%) -2.9

○「手洗い週間」を実施し、手洗いチェックで「せっけんで手を洗った」と答える児童の割合を1学期のアンケートの結果より2%向上させる。

⇒ 達成(94.7%→95.1%) +0.4

参考「ぶくぶくうがい」(87.2%→79.6%) -7.6

参考「安全に過ごす」(95.6%→97.9%) +2.3

学力については、今後も研究教科を設定し、教育センターや教育委員会のアドバイスを受けながら、授業力の向上に努めたい。また、矢田北タイムや漢字検定、図書館の充実、読書活動（読み聞かせ）やデジタルドリルの活用をさらに進め、基礎基本の定着に取り組む。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

- 学習者用端末を活用した家庭学習を週1回以上実施し、ICTを活用した教育を推進する。
⇒ **達成** 毎日タブレットを持って帰らせた。家庭学習については、できていない学年もある。
- 「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。
⇒ **達成** 毎週金曜日に設定し、帰るように努めた。参考 (88.2%→82.4%) - 5.8

ICTの活用に関しては、月間使用率100%で概ね活用されている。しかしながら、ICTを活用した家庭学習に関しては、学年の実態に応じて、できていない学年もある。活用事例の研修などを進め、取り組みを強化していきたい。保健の「手洗い」に関しては、概ね90%を超えており、定着したと考える。

学校の年度目標

- 学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を1日1回以上入力し、児童の心の状態や日々の生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。
⇒ 未達成 入力率は、(71.9%→80.9%) + 9.0
- 令和5年度末校内調査の教育アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を60%以上にする。
⇒ 未達成 (62.2%→54.8%→59.3%) + 4.5
- 教育アンケート項目「学校は、家庭・地域（見守り活動、読書活動支援、地域交流行事等）等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を85%以上にする。
⇒ **達成** (95.3%→93.4%→87.4%) - 6.0

「心の天気」に関しては、子どもの安心・安全のため、継続した取り組みを進める。読書に関しては、読書通帳、読み聞かせ等の取り組みを進めた結果、4.5ポイントの向上があった。引き続き、「ほっと（本と）スペース」の活用を進め、読書環境の充実に努めたい。ホームページについても保護者メールと連携し、わかりやすいホームページを目指し、情報発信を進めていく。

1 学校運営の中期目標

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。R4 84. 7%→91. 0%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。R4 91. 9%→92. 4%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を88%以上にする。R4 85. 4%→84. 7%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7（2025）年度の小学校学力経年調査の結果、国語・算数の全24観点のうち、12観点以上が大阪市の平均を上回るようにする。

R4 (8観点)→6観点

○令和7（2025）年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

R4 49. 1%→80. 8%

○令和7（2025）年度の教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

R4 73. 5%→69. 7%

○「手洗い・（うがい）週間」を実施し、アンケートの手洗い・うがいチェックで「せっけんで手を洗った」と答える児童の割合を98%以上にする。

R4 91. 4%→95. 1%

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「日々の授業の中で、パソコンやタブレットを使い、学習することができている。」に肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。

R4 88. 4%→80. 9%

○ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

R4 88. 2%→82. 4%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

R4 54. 8%→59. 3%

○令和7（2025）年度の教育アンケート項目「学校は、家庭・地域等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を90%以上にする。

R4 93. 4%→87. 4%

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小学校）

○令和6年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
R4 74. 5%→80. 8%

○令和6年度末校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
6人→6人→14人

○令和6年度末校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
R4 50. 0→40. 0

学校の年度目標

○令和6年度末校内調査の教育アンケート項目「楽しく学校に通っている」に、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。
R4 84. 7%→91. 0%

○令和6年度末校内調査の教育アンケート項目「学校のきまりを守っている」に、肯定的に答える児童の割合を93%以上にする。
R4 91. 9%→92. 4%

○令和6年度末校内調査の教育アンケート項目「相手の気持ちを考えて行動できる」に肯定的に答える児童の割合を86%以上にする。
R4 85. 4%→84. 7%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

○令和6年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、40%以上にする。

R4 32. 0%→42. 5%

○令和6年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0. 05ポイント向上させる。

⇒ 未達成

6年国 (+0.06) ○ 5年国 (+0.04) × 4年国 (+0.05) ○

⇒ 達成

6年算 (+0.39) ○ 5年算 (+0.17) ○ 4年算 (+0.20) ○

○令和6年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R4 70. 4%→69. 7%

○令和6年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

R4 49. 1%→80. 8%

○令和6年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

R4 73. 5%→69. 7%

学校の年度目標

- 令和6年度の小学校学力経年調査の結果が、国語算数の全24観点のうち、10観点が大阪市の平均を上回るようにする。 R4 (8観点)→6観点
- 教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。 R4 91. 9%→89. 0%
- 「健康週間」を実施し、健康チェックで肯定的に回答すると答える児童の割合を1学期のアンケートの結果より2%向上させる。 達成 (94. 7%→95. 1%)

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。(R5 55. 0%)

学校の年度目標

- 学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を1日1回以上入力し、月間使用率をあげ、児童の心情や生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。
- 令和6年度末校内調査の教育アンケート項目「進んで読書をしている」に、肯定的に答える児童の割合を60%以上にする。 R4 54. 8%→59. 3%
- 教育アンケート項目「学校は、家庭・地域（見守り活動、読書活動支援、地域交流行事等）等と連携・協働した教育を推進している。」に肯定的に答える保護者の割合を95%以上にする。 R4 93. 4%→87. 4%

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立矢田北小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--	--

年度目標	達成状況
【最重要目標】 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小学校)	
○令和6年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>87%以上</u> にする。 <u>R4 74.5% ⇒ R5 80.8% (+6.8)</u>	
○令和6年度の校内調査において、不登校児童の在籍比率を <u>前年度より減少</u> させる。 <u>R4 4.17% ⇒ R5 8.97% (+4.90)</u>	
○令和6年度の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を <u>増加</u> させる。 <u>R4 50% ⇒ R5 40% (-10.0)</u>	
学校の年度目標	
○令和6年度の校内調査の教育アンケート「楽しく学校に通っている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>92%以上</u> にする。 <u>R4 84.7% ⇒ R5 91% (+6.3)</u>	
○令和6年度の校内調査の教育アンケート「学校のきまりを守っている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>93%以上</u> にする。 <u>R4 91.9% ⇒ R5 92.4% (+0.5)</u>	
○令和6年度の校内調査の教育アンケート「相手の気持ちを考えて行動できる」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>86%以上</u> にする。 <u>R4 85.4% ⇒ R5 84.7% (-0.7)</u>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】		
<p>道徳教育や人権教育（外国人教育、特別支援教育、平和教育など）の充実を図り、互いの考えを交流し合い、命や人権の尊さについて考え、良好な人間関係を目指そうとする集団を育成する。</p> <p style="text-align: right;">(道徳教育・人権を尊重する教育・インクルーシブ教育・多文化共生教育の推進)</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)年間を通して道徳教育を行い、道徳的価値理解だけでなく自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考える学習を通して道徳的な態度を養う。 (2)年間を通じて行われる平和学習、課内実践（民族講師・老師などとの交流）、特別支援理解教育などを実施し、各学年が学び取ったことを交流する場を<u>年に一回以上</u>設定する。 (3)人権学習週間を設定し、「ひと・いのち（ひと・ぬくもり）（ひと・つながり）」などを活用した授業や「いじめについて考える」授業を<u>年に3回以上</u>実施する。 		
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】		
<p>毎月生活目標を設定し、各学期に強調週間を設け、全教職員で学校のきまりを指導する。</p> <p style="text-align: right;">(問題行動への対応・安全教育の推進)</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>毎月</u>生活目標を設定し、<u>各学期</u>に強調週間を設け、全教職員で学校のきまりを指導する。グリーティングメダル等を活用し、日頃からあいさつできる習慣を身につけさせる。(見守り隊の方や来校者、職員室への入り方など) <p style="text-align: center;">(令和6年度も、<u>あいさつ</u>を重視して指導する)</p>		
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】		
<p>様々な特別活動の場で、児童一人ひとりが活躍できる場を設定し、達成感を持たせ自尊感情を高める。</p> <p style="text-align: right;">(キャリア教育の充実)</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級、学校行事、児童会活動、集会活動などで、発表する場を設定する。 		
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】		
<p>子どもの発達段階に応じてキャリア教育を推進し、各学年で文化的・体験的な学習を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(キャリア教育の充実)</p>		
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)各教科において<u>年間</u>を通じてキャリア教育を行う。 (2)各学年が体験活動を計画・実施し、全校児童でも芸術活動を実施する。 <p style="text-align: center;">(各学年の社会見学、キッザニア甲子園での職業体験、外部講師を招いての出前授業、劇や音楽鑑賞など)</p>		

取組内容⑤【基本的な方向！ 安全・安心な教育環境の実現】

「心の天気」「相談機能」等を活用し、児童の実態把握に努め、指導に生かす。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を深め、不登校児童に対する理解を深めるとともに、安心・安全な教育環境を構築する。

(問題行動への対応・安全教育の推進)

- 指標** • 令和6年度の校内調査の教育アンケート「楽しく学校に通っている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。

R4 84.7% ⇒ R5 91%

取組内容⑥【基本的な方向！ 安全・安心な教育環境の実現】

不登校児童（未然防止を含む）に対応するために、学校として組織的に対応する体制を構築する。関係諸機関との連携を密にし、多面的・多角的な支援を行う。

(問題行動への対応・安全教育の推進)

- 指標** • ○令和6年度末校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

R4 4.17% ⇒ R5 8.97% (+4.90)

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間反省

大阪市立矢田北小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
全市共通目標（小学校）	
○令和6年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>40%以上</u> にする。 <u>R4 32.0% ⇒ R5 42.5% (+10.5)</u>	
○令和6年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より <u>0.05ポイント向上</u> させる。 <u>R4 未達成 ⇒ R5 達成</u>	
○令和6年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>80%以上</u> にする。 <u>R4 70.4% ⇒ R5 69.7% (-0.07)</u>	
○令和6年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>60%以上</u> にする。 <u>R4 49.1% ⇒ R5 80.8% (+31.7)</u>	
○令和6年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を <u>75%以上</u> にする。 <u>R4 73.5% ⇒ R5 69.7% (-3.8)</u>	
学校の年度目標	
○令和6年度の小学校学力経年調査において、国語と算数の全24観点のうち、 <u>10観点</u> が大阪市の平均を上回るようにする。 <u>R4 8観点 ⇒ R5 6観点 (-2)</u>	
○教育アンケートの「外で遊んだり、運動したりすることが好きである」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>90%以上</u> にする。 <u>R4 91.9% ⇒ R5 89.0% (-2.9)</u>	
○「健康週間」を実施し、健康アンケート「せっけんで手を洗った」「ぶくぶくうがい」「安全に過ごす」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を1学期のアンケートの結果より <u>2%向上</u> させる。 <u>1学期 94.7% ⇒ 2学期 95.1% (+0.4)</u>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科を研究教科とし、全学年で授業研究および協議会を実施する。また、教職員の一人一授業を実施する。 課題に向き合う力の定着、自分の考えを表現する力につけるための指導法についての研究を推進する。 ポジティブ行動支援を意識した授業づくりも進めしていく。 <p>(言語活動の充実(思考力・判断力・表現力の育成))</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年<u>1回以上</u>の研究授業、討議会の実施、外部講師による全体研修会を<u>5回以上</u>実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>学力向上の時間を設定し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。</p> <p>(「主体的・対話的で深い学び」の推進・個別支援の充実)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝に<u>10分間</u>の矢田北タイムを設定し、漢字タイムや読書タイム、計算タイムを実施する。 学習支援ツール navima (ナビマ) や<u>スタディサプリ</u>の活用を進める。 <u>週1回以上</u>取り組む。 	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>家庭学習に取り組む児童を増やすための工夫を行う。</p> <p>(「主体的・対話的で深い学び」の推進・個別支援の充実)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 低、中、高学年向けの家庭学習の手引きを<u>懇談会等</u>で活用する。 日記学習や自主学習などの家庭学習を、<u>週1回以上</u>取り組む。 	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>全校で外国語教育を推進し、コミュニケーション能力をつける。</p> <p>(英語教育の強化)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語のモジュール活動 (<u>10分×2回</u>) を設定し、全学年で外国語活動を実施する。 校内研修会を<u>年1回以上</u>実施し、効果的な授業実践を行う。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>校内の自然環境を整備するとともに、効果的な観察・実験を行う。全校で理科教育を推進し、科学的な思考力・判断力・表現力等の育成する。</p> <p>(理数教育の充実)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を<u>80%以上</u>にする。 	

取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】

体育科の授業や体育的行事を通して、運動する喜びを実感させる。また、児童が運動することが楽しくなるような環境整備を進める。

(体力・運動能力向上のための取組の推進)

- 指標
- ・なわとび集会やランランタイム等、全校児童が楽しく参加できる体育的行事を実施する。
 - ・スポーツ「夢・事業」など、外部講師を招いた体育授業を年2回以上行い、生涯スポーツへつなげる。

取組内容⑦【基本的な方向5 健やかな体の育成】

健康な身体をつくるために、規則正しい生活習慣を身につける。

(虫歯の減少、けがの防止、手洗いうがいの習慣化)

(健康教育・食育の推進)

- 指標
- ・給食後の「ぶくぶくうがい」や「歯」に関する授業の実施、歯科受診の啓蒙等を進める。健康アンケートを実施し、「ふくぶくうがい」に関する項目について肯定的に答える児童の割合を1学期の結果よりも向上させる。

R4 44% (34人) ⇒ R5 16% (24人) (-28) 虫歯率

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間反省

大阪市立矢田北小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。(R5 55.0%)</p> <p>※基準1・・・1ヶ月の時間外勤務が 45時間以下 ・・・1年間の時間外勤務が360時間以下</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○学習者用端末でスクールライフノートの「心の天気」を<u>必ず1日1回以上入力</u>し、児童の心の状態や日々の生活の状態を可視化し、児童理解を深め、指導に生かす。(1年生は、2学期から 2~6年生は、5月から) <u>入力率を85%以上にする。</u></p> <p>R4 入力率 71.9% ⇒ R5 入力率 80.9% (+9.0)</p> <p>○令和6年度の校内調査の学校アンケート「学校や家ですすんで読書をしている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を<u>60%以上</u>にする。 <u>R4 54.8% ⇒ R5 59.3% (+4.1)</u></p> <p>○令和6年度の校内調査の教育アンケート「学校は、家庭や地域と連携・協働した教育を推進している。」の項目に対して、肯定的に答える保護者の割合を<u>85%以上</u>にする。 <u>R4 93.4% ⇒ R5 87.4% (-6.0)</u></p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーションの推進】		
<p>ICT を活用した教育やプログラミング教育に取り組み、児童の思考力・表現力を育てる。</p> <p>(ICT を活用した教育の推進)</p>		
指標	<ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) 	
取組内容②【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーションの推進】		
<p>スクールライフノートの「心の天気」やデジタルドリル・スタディサプリも活用し、児童のタブレット使用率を向上させる。</p> <p>(ICT を活用した教育の推進)</p>		
指標	<ul style="list-style-type: none"> 「心の天気」入力率を<u>85%以上</u>とする。(R4 71.9→R5 80.9%) 	
取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】		
<p>水(月2回)・金曜日を「ゆとりの日」に設定し、原則17:30退勤を実施する。</p> <p>(働き方改革の推進)</p>		
指標	<ul style="list-style-type: none"> 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。 <p>(R5 55.0%)</p>	
取組内容④【基本的な方向8、生涯学習の支援】		
<p>図書館開放等、学校司書や読み聞かせボランティアとの連携のもと、意欲をもって読書に親しむ環境を整える。(読書通帳や読み聞かせ会等の読書の楽しさを伝える取り組みを進める。)</p> <p>(学校図書館の活性化)</p>		
指標	<ul style="list-style-type: none"> 図書館や「ほっとスペース」の利用を増やし、令和6年度の校内調査の学校教育アンケート「学校や家ですぐで読書をしている」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を<u>60%以上</u>にする。 	
取組内容⑤【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】		
<ul style="list-style-type: none"> 学校・学年だよりやホームページ等の活用、定期的な家庭連絡等で児童の活動や学校の様子を伝え、連携を深める。 地域行事の交流活動を通して、自他を思いやる気持ちを育てる。 やたきたまつりの出店や茶道体験等、地域人材と連携し、交流を深める。 <p>(地域学校協働活動の推進)</p>		
指標	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の校内調査の教育アンケート「学校は、家庭や地域と連携・協働した教育を推進している。」の項目に対して、肯定的に答える保護者の割合を<u>85%以上</u>にする。(R5 87.4%) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

中間反省